




輝け、
カガクで。

Activate Your Life

決算補足説明資料

2024年12月期 通期

 日華化学株式会社
東証スタンダード:4463 | 2025年2月14日

目次

01

2024年12月期通期 決算概要

02

2025年12月期通期 業績・配当予想

03

Appendix

01

2024年12月期 通期
決算概要

売上、利益ともに過去最高

化学品事業

増収・増益

売上高・セグメント利益ともに過去最高

- EHD*関連製品売上比率増による利益率向上
- 主力の繊維化学品／中国・ベトナム
中心に大手加工場の稼働好調が継続
- 半導体市場回復に伴う、デジタル領域販売の好調
- 円安による伸長

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

化粧品事業

増収・減益

売上高は過去最高

- 大口ODM・サロン既存品減少も
デミコリア好調、デミ注力商品販売増
- 新規ODM好調
- 戦略的コスト増(営業・マーケティング)、
販売関連費増、在庫変動の影響もあり減益



2027年稼働予定の化粧品新工場建設開始

2024年12月期通期 連結決算概要

	2023年12月期 実績		2024年12月期 実績		増減額	増減率
	(百万円)	構成比	構成比	構成比		
売上高	50,169	100%	54,099	100%	+3,929	+7.8%
■ 化学品事業	35,605	71.0%	39,378	72.8%	+3,772	+10.6%
■ 化粧品事業	13,977	27.9%	14,271	26.4%	+293	+2.1%
その他	586	1.2%	449	0.8%	△136	△23.3%
営業利益 (営業利益率)	2,039 (4.1%)	-	3,519 (6.5%)	-	+1,479	+72.6%
■ 化学品事業(セグメント利益)	1,803	46.1%	3,724	66.5%	+1,921	+106.6%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	2,044	52.2%	1,822	32.5%	△221	△10.9%
その他	64	1.6%	58	1.0%	△5	△8.5%
消去等	△1,871	-	△2,085	-	△214	-
経常利益	2,528	-	3,976	-	+1,447	+57.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,691	-	2,754	-	+1,063	+62.9%

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q	3Q	4Q
	151.47円(7.8%円安)	(6.2%円安)	(3.2%円安)		72,500円(+9.0%)	79,100円(+17.2%)	76,900円(+20.9%)	73,200円(+0.5%)

経営指標の概要

- 過去最高益となったことで、ROA、ROE、ROICが向上し、EBITDAも大幅増。PBR、減価償却費は横ばい
- 親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回った事から期末配当を2円上方修正し27円に、年間配当は52円に

(百万円)	2023年12月期 実績	2024年12月期 実績	増減額	増減率
ROA	3.6%	5.9%	-	+2.3 pt
ROE	5.8%	8.6%	-	+2.8 pt
ROIC	3.6%	5.8%	-	+2.2 pt
PBR	0.53倍	0.57倍	-	+0.04倍
EBITDA	4,308	5,743	+1,434	-
減価償却費	2,269	2,224	△44	-
年間配当(円)	32	52		

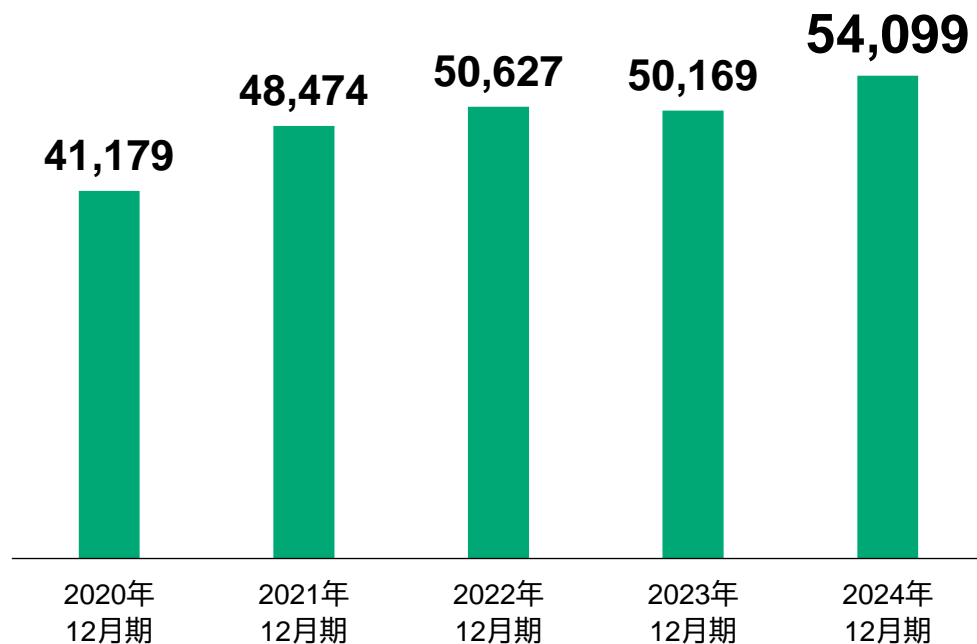
※ 2024年12月期年間配当金のうち期末配当27円については2025年3月27日開催の定時株主総会で決議予定

連結売上高・営業利益の推移

- ・ 2期ぶりの増収・増益でいずれも過去最高
- ・ 営業利益率も大きく向上

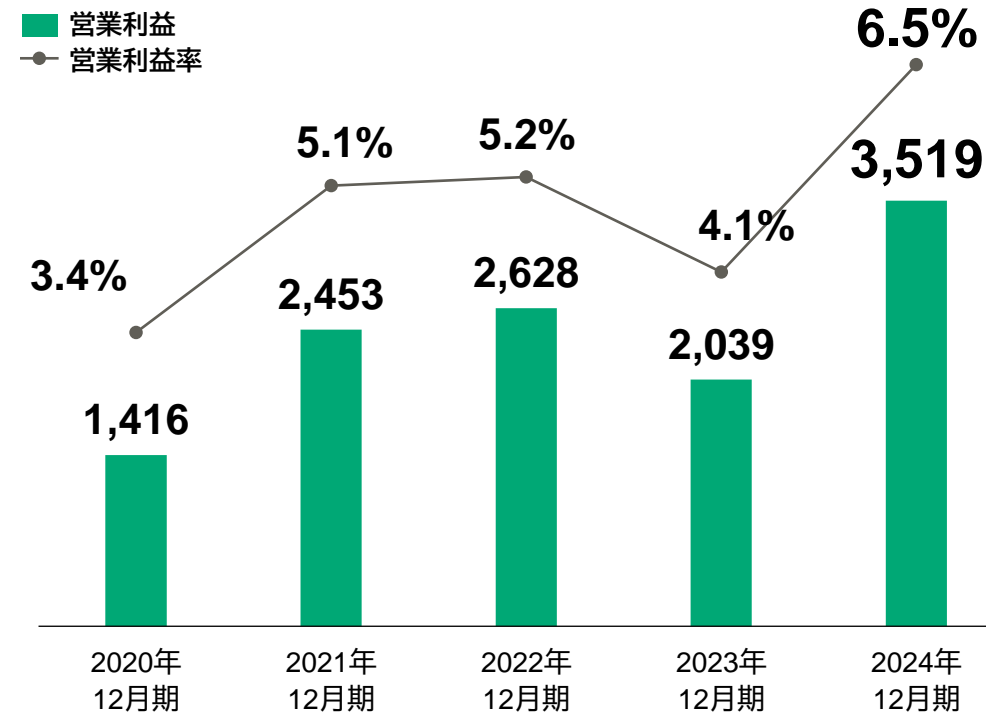
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)

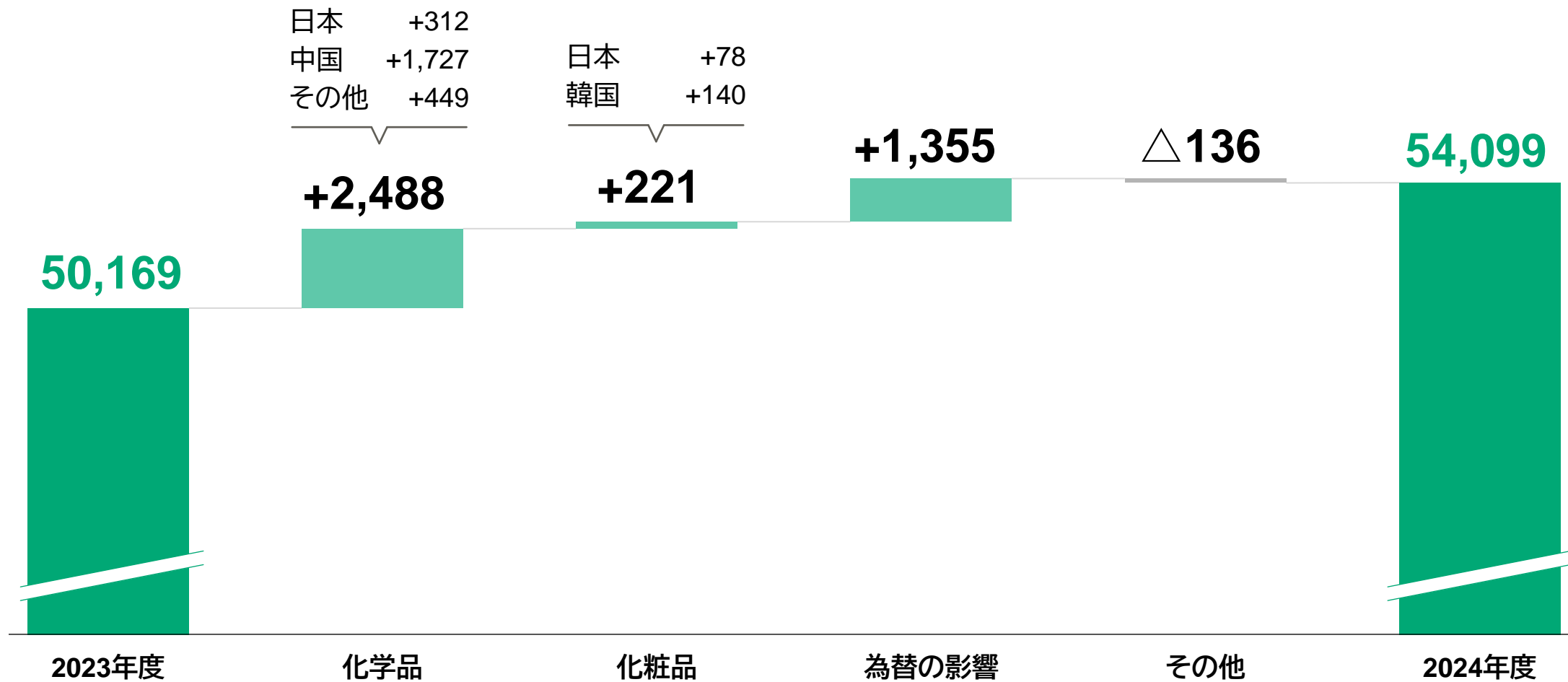


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年12月期から適用。それ以前は旧基準を適用

連結売上高 増減要因

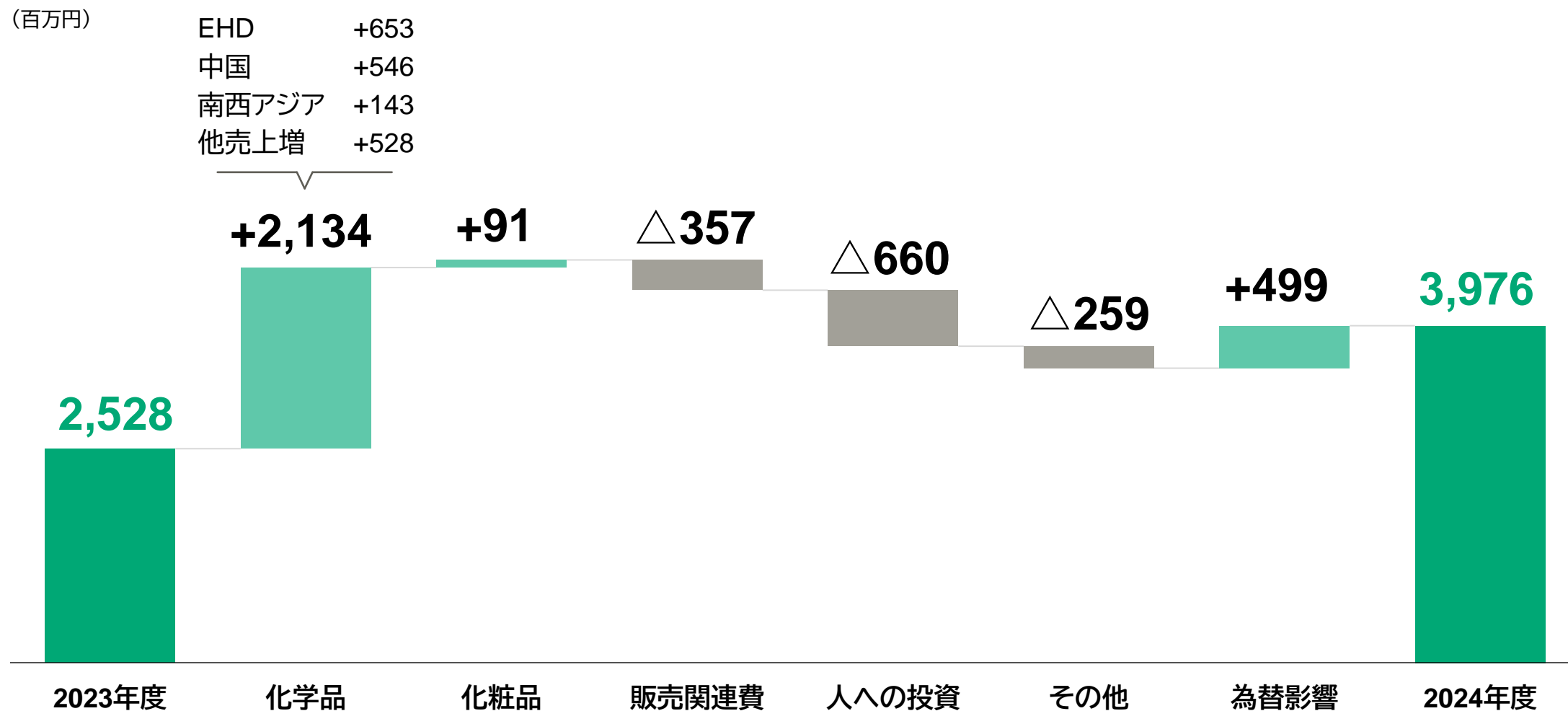
- 化学品事業 +24億円増収、化粧品事業 2億円増収、為替の影響 +13億円
- 化学品事業:国内増収、海外は中国を中心に増収 化粧品事業:国内増収、海外増収

(百万円)



連結経常利益 増減要因

- 化学品事業の成長により全社営業利益が大きく増加、報酬制度改定など人への投資を積極的に実施



セグメント概要

化学品事業

- 創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用
- 2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開



繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)

主要な 関係会社

- 大智化学産業株式会社(半導体産業向け)
- 日華化学(中国)有限公司
- NICCA KOREA CO., LTD. 他13社

化粧品事業

- 主カブランド「DEMI」を中心とした、プロフェッショナル向け美容室専売品の研究開発
- お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさを追究



ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング

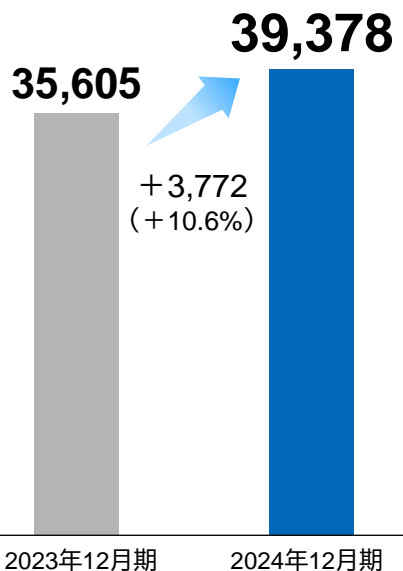
主要な 関係会社

- 山田製薬株式会社(化粧品OEM/ODM)
- イーラル株式会社
- DEMI KOREA CO., LTD. 他4社

- EHD好調、中国・ベトナム好調、円安の影響等で、売上高、セグメント利益ともに過去最高

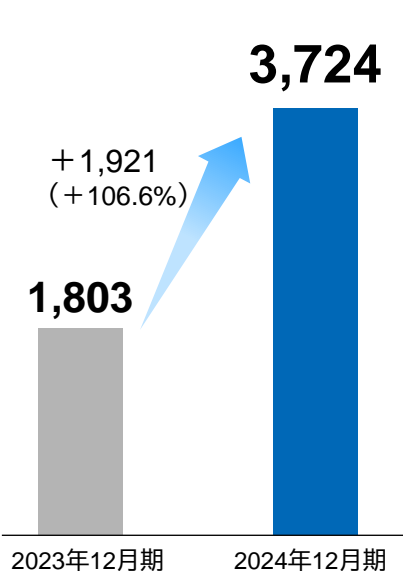
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	
	151.47円 (7.8%円安)	(6.2%円安)	(3.2%円安)	
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q	3Q	4Q
	72,500円 (+9.0%)	79,100円 (+17.2%)	76,900円 (+20.9%)	73,200円 (+0.5%)

主な増減要因

売上高

繊維化学品分野

- + EHD※関連製品販売 引き続き好調(売上比率+1.5pt 前年同期比)
フッ素フリー系撥水剤、環境負荷低減工程薬剤など
- + 中国・ベトナム中心に海外大手繊維加工場の高稼働が継続
- + インド・バングラビジネスが成長

クリーニング薬剤分野(国内)

- + インバウンド好調によるリネンサプライ用薬剤販売増継続

電子材料関係分野

- + 半導体市場は生成AI向け等により底打ちから回復(2Q以降)
- + 日本以外での新規ビジネス増加

利益

- + EHD※関連製品(高付加価値品)売上比率増
- + 円安の影響

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

重点目標

更なる収益性向上

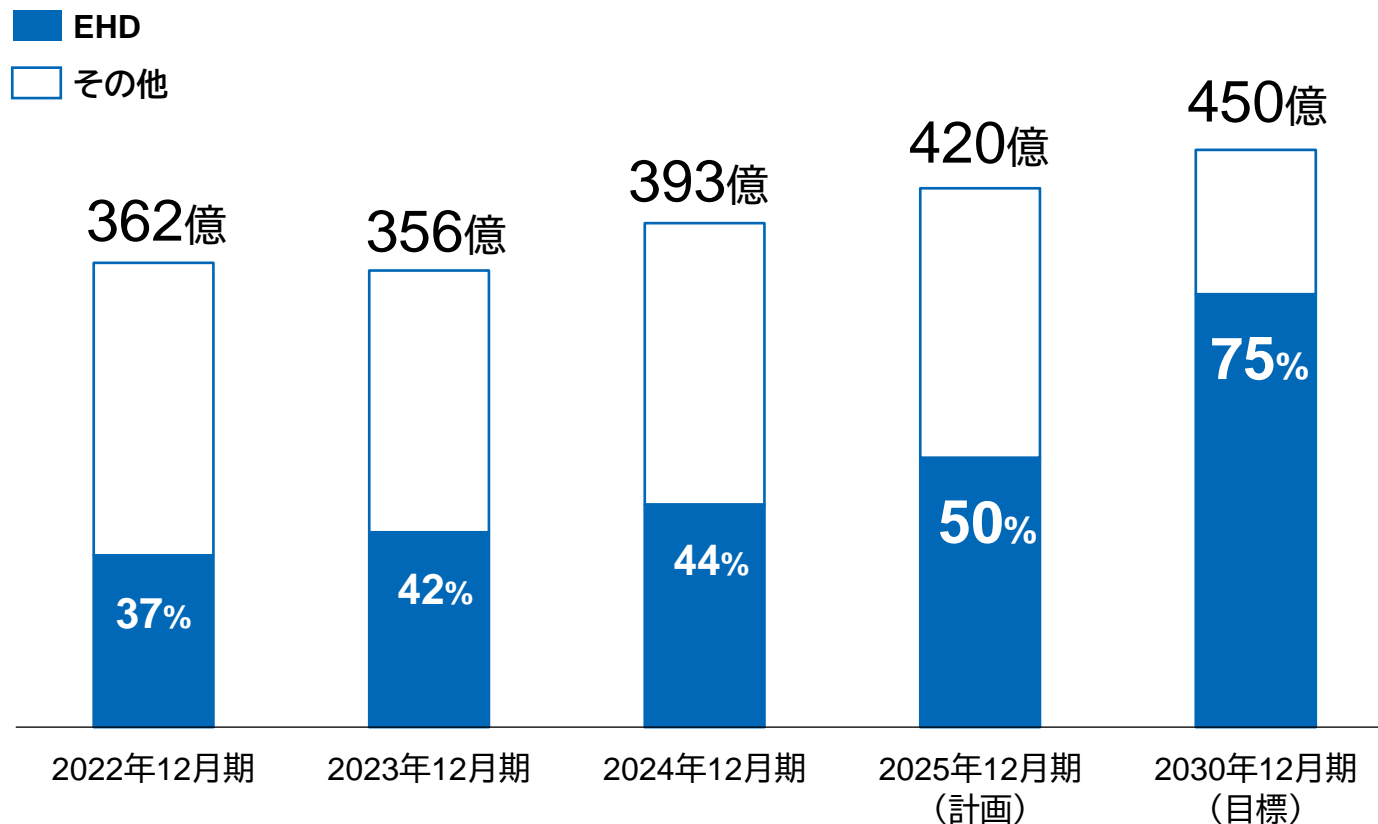
施策	進捗状況(通期)
EHDシフトの推進	<ul style="list-style-type: none"> • EHD売上高比率 23年 42.7% → 24年 44.2%(+1.5pt) <ul style="list-style-type: none"> • フッ素フリー撥水剤(+6億円) • 環境対応工程薬剤(+3億円) • 水系ウレタン 新規/自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開 • 水系クーラント剤 • リネン用薬剤
戦略的グローバル調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> • 海外子会社の情報網を活用し、マレーシア、インドネシア、中国から競争力のある油脂化学品、無機化学品の調達を推進中
不採算製品の統廃合	<ul style="list-style-type: none"> • 低粗利製品を同等性能付与製品へ積極的に転換を図り、収益性向上推進
原料、物流コスト増に対応した価格改定や採算是正	<ul style="list-style-type: none"> • 継続的なコスト削減(販管費、製造固定費、原料コスト)

EHDシフトの推進

- 化学品事業はEHD売上高比率の向上余地が大きく、比率が高まれば化学品全体の収益性も高まる
- EHD製品利益率+10%(従来製品比、24年12月期実績)

化学品事業における

EHD製品の売上高比率



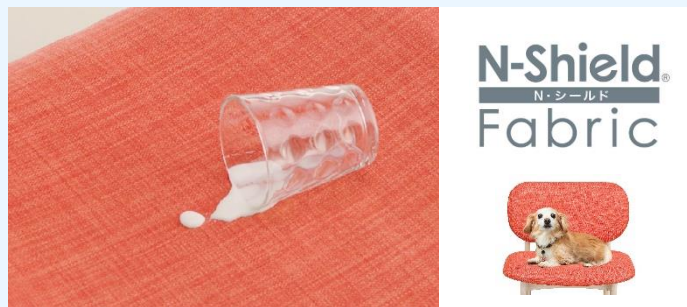


ニトリとの共同開発素材「Nシールド ファブリック」が グッドデザイン賞を受賞

- 2024年10月、株式会社ニトリ、帝人フロンティア株式会社との3社共同開発品「Nシールドファブリック」が2024年度グッドデザイン賞を受賞

「N-Shield /N-Shield Fabric」(エヌシールドファブリック)とは

- ひっかきに強く汚れにくい合成皮革とファブリックの素材
- 2つの特性を兼ね備えることで、意匠性を損なうことなく心地良く使い続けられ、多様なライフスタイルに寄り添う



審査委員の評価

「汚れが気になる」「ペットがひっかく」などファブリックを使用する家具におけるネガティブなイメージを覆す機能的な張り生地。生地開発も協業各社と連携し、誠実に丁寧な開発が行われている。この生地があることで消費者の選択肢が広がり、気兼ねなくファブリックを張った家具を選ぶことができるようになる点を評価した。

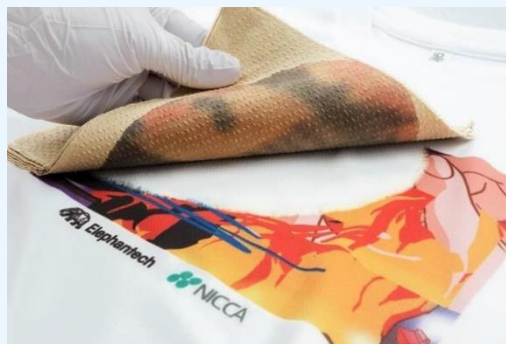


ポリエステルアップサイクル技術「ネオクロマト加工」が 近畿経済産業局長賞を受賞


- 2024年11月、エレファンテック社との共同開発品「ネオクロマト加工」が近畿経済産業局長賞を受賞
- 2025年開催の大阪・関西万博での出展が決定

ネオクロマト加工とは

- 分散染料にて染色・プリントされたポリエステル布地から、安全性の高い薬剤を用い、大掛かりな設備や水を使用せずに染料をほぼ完全に脱色できる革新的な技術
- 何度でも新たなプリントデザインが可能のため、アップサイクルによる地球資源の有効活用に貢献



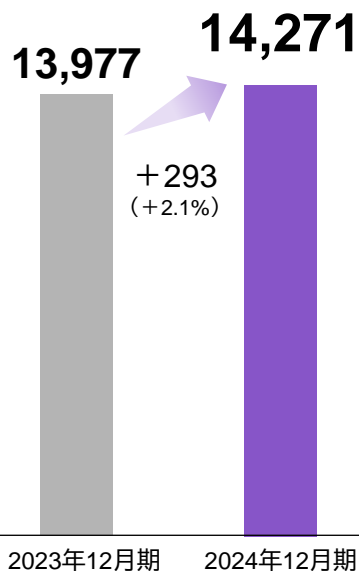
大阪万博出展概要

日時	2025年10月3日(日)～ 10日(金)期間内
エリア	大阪・関西万博EXPOメッセ内 日本弁理士会主催「ビジネス/ 技術アイデアコンテスト」  日本弁理士会サイト
内容	ネオクロマト加工 技術体験会・ワークショップ

- 新商品・注力商品販売増、韓国好調も、既存品減少、一部ODM受注減、戦略的コスト増などで増収・減益(売上高 過去最高)

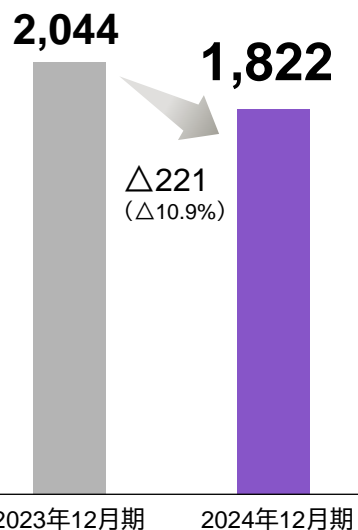
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

日華化学デミ コスメティクス(国内サロン向け)

- + 新商品、注力商品販売増
- サロン向け既存品減少(サロン来店客数減 底打ち状況の継続)

山田製薬(国内ODM)

- + ODM事業そのものは好調に推移
- 一部大口ODM受注大幅減

デミコリア

- + カラーカテゴリーでの韓国内シェア拡大
- + 韓国市場専用ヘアケア剤販売増

利益

- 27年新工場稼働を見据えた営業・マーケティングの戦略的コスト増
- 販売関連費増、在庫変動の影響

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル 151.47円 (7.8%円安)	中国元 (6.2%円安)	ウォン (3.2%円安)	
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q 72,500円 (+9.0%)	2Q 79,100円 (+17.2%)	3Q 76,900円 (+20.9%)	4Q 73,200円 (+0.5%)

重点目標

新製品・メンズブランド、
デジタルプロモーション継続による国内シェア拡大

施策	進捗状況(通期)
スカルプケア「DEMI DO」、 ヘアカラー「トイロクシオン」 導入サロンでのシェアアップ	<ul style="list-style-type: none"> • DEMI DOトライアルサシェを作成し導入サロンで展開 • トイロクシオン追加ライン「ブラウニッシュライン」他5月発売 • レシピBOOK定期発刊&SNS連動で広く拡散 • フローディア追加品「フローディアモア」9月発売
メンズブランド強化	<ul style="list-style-type: none"> • 1Q/キャラバン、エクスフリーク、2Q/キャラバン新アイテム発売 • 「MEN 'S CARE BOOK」作成によりサロン内メンズ顧客アプローチ強化 • メンズカテゴリー売上 前年比+58%
デジタルプロモーションの継続	<ul style="list-style-type: none"> • オウンドメディア「DEMI LABO(デミ ラボ)」(詳細次ページ参照) • 5月ローンチ、9月 業界内競合メディア単独1位となりその後も順調 • DEMI DO新規客獲得目的のトライアルECで2,700名の新規購入者獲得



デミ コスメティクス主力ブランドより 新ブランド「フローディアモア」新発売(9月)

- デミ主力「フローディア」の最上位ライン
- デミ初の酸性ストレート、超修復トリートメント
 - 毛髪強度を守り、クセ・うねりにしっかり作用するストレートシリーズ
 - ダメージ要因を限定せず、マルチに補修するトリートメントシリーズ
 - フローディア史上、最高峰の補修力を持つホームケア
- 全15アイテム
- 扱いにくいお悩み髪をいつまでも触れていたい艶髪へ

DEMI

詳しくは[こちら](#)(DEMI LABO特設サイト)

FLOWDIA
MORE





一般ユーザー向け美容室情報発信オウンドメディア 「DEMI LABO」の利用者数が拡大

- 業界競合メディア比較にて、月間セッション数が好調に推移
- 今後はトライアルサイズ購入・サロン訪店導線を強化し、サロン利益に寄与していく

毛髪科学のプロがお届けするヘアケア情報マガジン

DEMI LABO デミラボ

Good Science, Good Beauty
科学の子カラであならしい理想の髪を

1/100000.
1人およそ10万本あるといわれる髪。

たった1本の髪も余すことなく、ひとりひとりの髪と頭皮の
パフォーマンスを最大限に引き出すためのヒントをお届けします。

URL demi.nicca.co.jp/media/



DEMI LABO 月間セッション数^{※1}^{※2}(2024年12月 月間)

メディア	DEMI LABO	A社	一般美容誌 メディアB	一般美容誌 メディアC
セッション数	107,101	41,055	67,377	116,459

※1 セッション数:ユーザーがサイトを訪れた数

※2 競合分析ツール「Semrush」より算出



東京エリア拠点の移転・統合

- 事業再編の一環として、化学品部門と化粧品部門をそれぞれ別のサイトに分け、事業セグメントごとに機能とリソースを集約。お客様との直接的な交流機会を増やし、業務効率化を目指す。

旧

東京支店(日本橋小舟)

- 化学品 営業
- 化粧品 営業
- 大智化学株式会社(化学品)
- 山田製薬株式会社(化粧品)

デミ ヘアサイエンス スクエア東京(表参道)



化学品 12/2(月)~

東京支店(日本橋人形町)

- 化学品 営業
- 大智化学産業

化粧品 12/16(月)~

ヘアサイエンススクエア東京(表参道)

- 化粧品 営業
- 山田製薬株式会社
- ヘアサイエンスラボ(新設)

移転統合後



連結キャッシュフロー

- 営業CF：+60億円(収入) EBITDA 57億円
- 投資CF：△51億円(支出) 固定資産取得による支出31億円
- 財務CF：△3億円(支出) 借入金増6億円、配当金支払6億円

(百万円)	2023年12月期	2024年12月期	増減額
営業CF	4,086	6,033	+1,947
投資CF	△876	△5,137	△4,260
財務CF	△1,740	△328	+1,411
期末現預金残高	8,344	10,726	+2,382

連結貸借対照表

	2023年12月期 期末	2024年12月期 期末	増減額	
(百万円)				
資産	56,918	62,366	+5,447	(主な増減要因) ・ 現金及び預金+2,382 ・ 有形固定資産+2,113 ・ 受取手形、売掛金及び契約資産 +967
流動資産	31,077	34,221	+3,143	
固定資産	25,841	28,144	+2,303	
負債	24,096	25,812	+1,716	(主な増減要因) ・ 借入金+632 ・ 未払金+541 ・ 支払手形及び買掛金+285 ・ 未払法人税等+269
流動負債	15,776	17,143	+1,367	
固定負債	8,320	8,668	+348	
純資産	32,822	36,553	+3,731	(主な増減要因) ・ 利益剰余金+2,106 ・ 為替換算調整勘定+978
負債純資産合計	56,918	62,366	+5,447	
自己資本比率	52.9%	54.0%	+1.0pt	
有利子負債	9,270	9,902	+632	

02

2025年12月期 通期

業績・配当予想

2025年12月期通期 業績予想の前提

外部環境

- ・ 世界経済は引き続き先行き不透明な状況が続く
- ・ トランプ政権の始動、国際紛争の行方、為替の動向 等



事業への 主な影響

化学品事業

繊維市場

- ・ 主力のアパレル、自動車シート・内装材向けの加工市場は、中国経済や トランプ政権の関税政策の動向次第で不透明
- ・ その中でもターゲットのイノベーション領域(新素材切替、環境対応、高付加価値化、トレーサビリティ対応、資源循環型モデル構築等)は引き続き進展

クリーニング市場

- ・ ホームクリーニングは減少、リネンサプライはインバウンド好調により拡大

電子材料市場

- ・ 生成AI関連は需要増も小型化、高精密化で半導体の数量増は限定的

化粧品事業

- ・ サロン市場は底打ち
- ・ サロンにおけるメンズ市場の拡大
- ・ サロンヘアケアは継続成長
- ・ ODM市場は堅調に推移

全社

- ・ 物価高、人件費上昇
- ・ 想定レート 為替/米ドル150円、国産ナフサ/73,200円

化学品事業

■ 成長・高収益事業への傾注

- EHDに紐づく新規ビジネス・新規エリアの獲得（EHD売上比率50%）
- グループ一体となったグローバル拡販
- デジタル領域のグローバル展開と新規ビジネスの創出

■ 収益性向上

- 戦略的調達によるコストダウン（中国、インド、オレオ化学品）
- マーケティング力とプライシング力の強化
- リスクマネジメント（為替、地政学）

化粧品事業

■ 優良サロンの獲得

- 営業人員増強によるサロンサポート強化
- DEMI LABOを起点としたユーザー認知と顧客獲得

■ 新商品によるサロン内シェアアップ

- 新ブランド「サマーバー」、「DEMI DO」追加品

■ デミコリア／店販を基軸にシェア拡大

全社

- 賃金向上
- 従業員RS導入
- 新ERP導入

2025年12月期通期 連結業績予想

- 売上高、営業利益は過去最高となる見通し

(百万円)	2024年12月期 実績		2025年12月期 予想		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	54,099	100%	57,000	100%	+2,901	+5.4%
■ 化学品事業	39,378	73%	41,500	73%	+2,122	+5.4%
■ 化粧品事業	14,271	26%	14,700	26%	+429	+3.0%
その他	449	1%	800	1%	+351	-
営業利益 (営業利益率)	3,519 (6.5%)	-	3,600 (6.3%)	-	+81	+2.3%
■ 化学品事業(セグメント利益)	3,724	66%	3,770	66%	+46	+1.2%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	1,822	33%	1,840	32%	+18	+1.0%
その他	58	1%	60	1%	+2	-
消去等	△2,085	-	△2,070	-	+15	-
経常利益	3,976	-	3,700	-	△276	△6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,754	-	2,600	-	△154	△5.6%

為替

米ドル
150円

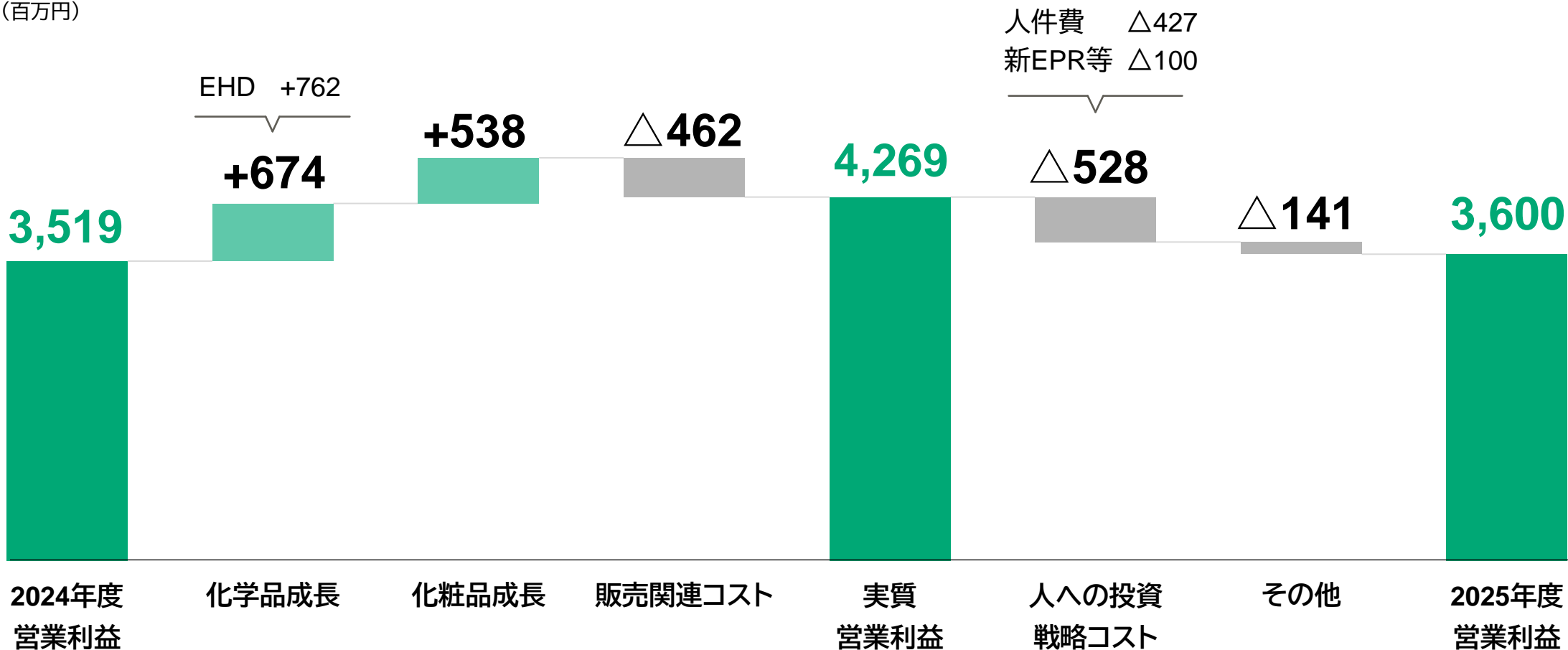
国産ナフサ

73,200円

連結営業利益 増減要因(対前年)

- 化学品事業、化粧品事業共に売上高増加を計画、実質的な営業利益は中計以上の水準を見込む
- 人への投資を中心とした戦略的コストを継続投下することにより、中長期での成長に向けた取組みを強化する

(百万円)



化粧品新工場建設開始

- 化粧品新工場建設に195億円を投資、2027年本格稼働を目指す
- 24時間稼働のスマートファクトリーで、人時生産性は1.5倍に大幅改善

イメージパース図



福井スマートファクトリー(仮称)

製造キャパシティ大幅アップ

働きやすい職場環境

在庫回転月数の低減

生産性大幅改善

- 24時間稼働
- デジタル化・自動化・省人化

環境対応工場

- 太陽光発電
(現工場の約7割の電力をカバー)
- CO2排出削減、排水量削減等

建設予定地

福井県福井市稲津町・
荒木新保町
(北陸自動車道 福井ICより
0.5km)

土地面積

39,772㎡

本格稼働

2027年

投資規模

約195億円

補助金上限額^{※1}※2

49億 9,991万円
(補助率1/3)

※1 現時点での予定。補助金交付額は補助対象事業完了後の検査等結果により変動可能性あり

※2 補助事業名称: 中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金 / 対象経費: 建物、設備費、およびシステム購入費等 / 対象事業完了時期: 2026年12月



デミ コスメティクス新ブランド 「SUMMER BAR」(サマーバー)発売

- 猛暑が続く夏に提案する「クール」を追求したサマーブランド
- 肌と髪両方に使用&紫外線をしっかりカットするUVケアと、新境地のクール感を体験できるヘアケアアイテム
- 属性年代問わず、紫外線ダメージと夏のべたつきが気になるすべての方向け

UVケア 2品



2025年2月19日発売

- SPF50+、PA++++、UV耐水性★★で紫外線をしっかりカット
- 髪&肌両用、質感が選べるスプレーとミストタイプ
- ヘアカラーをキレイに見せるブドウ種子エキス(保湿成分)配合

クールヘアケア 12品



2025年4月2日発売

- ベタつき、ニオイをシャキッと洗い流すクールシャンプー
- 新境地のクール感を体感できるトリートメント
- 夏の頭皮と髪にうるおいをチャージ



IRサイト リニューアル(2月13日)

- 株主・投資家の皆さまにより当社について理解を深めていただくため、IRサイトをリニューアルいたしました是非ご覧ください！

新コンテンツ

- 日華化学って、どんな会社？
- 実は身近なNICCAの技術
- 当社の強み
- 大切にしている言葉
- 経営陣の想い
- 中長期シナリオ・中期経営計画



日華化学株式会社 IR

IR サイト <https://www.nicca.co.jp/ir/>



日華化学って、どんな会社？



実は身近なNICCAの技術



当社の強み



大切にしている言葉



経営陣の想い



中長期シナリオ・中期経営計画



サステナビリティの取り組み



株主還元（配当・優待）



IRライブラリ・説明会



社員報酬制度の拡充

- 2024年に引き続き、2025年も賃金アップ実施予定

賃金上昇と採用競争の激化

- 国策、最低賃金も上昇
- 各業界、各社で賃上げが予定されている
- リクルート&リテインはさらに重要度を増す



新卒初任給

約**10%アップ**
(2024年比)

1人当たり報酬

5%アップ
(2024年比)

- 初任給改定に伴う報酬テーブルとその運用を見直し
- 社員向け譲渡制限付き株式インセンティブ制度の導入

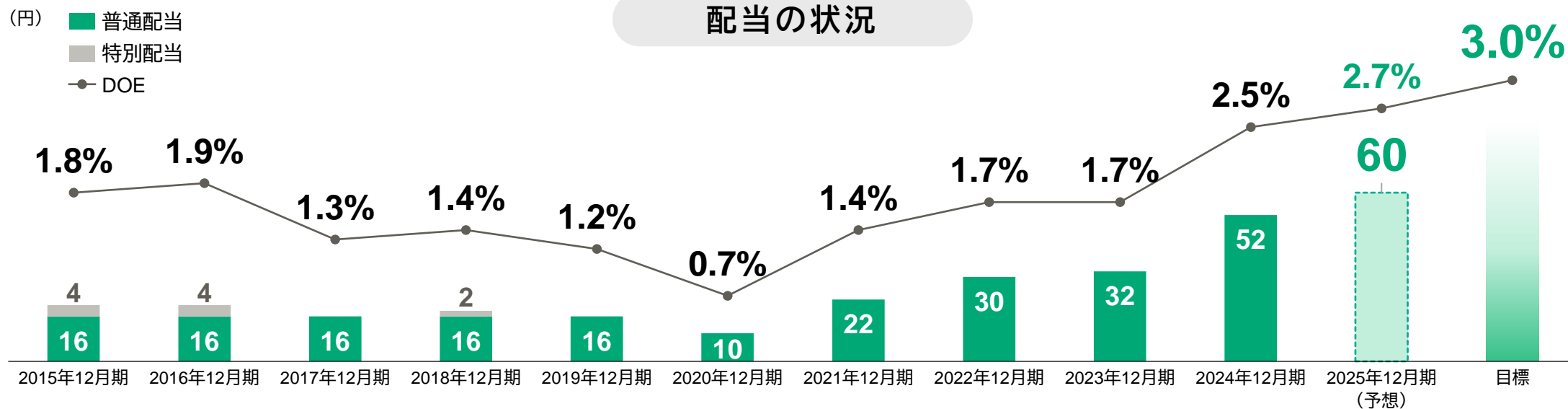
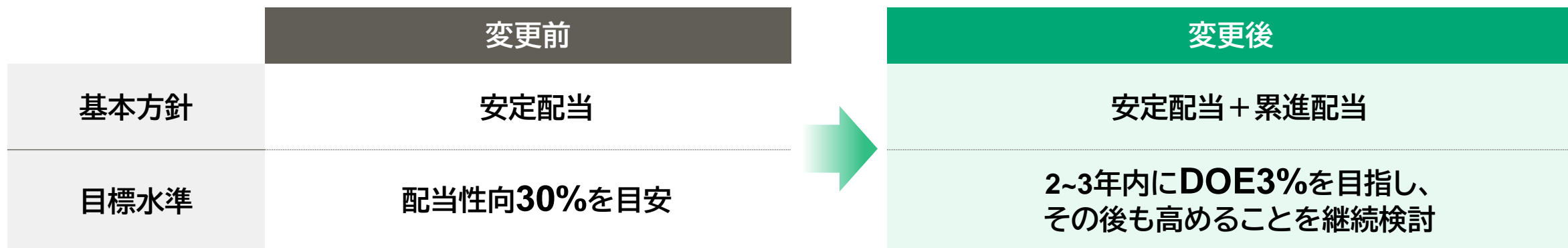
■ 社員向け譲渡制限付き株式インセンティブ制度の概要

対 象	社員持株会に加入する当社グループの経営職層社員のうち、本制度に同意する者
目 的	社員の資産形成の一助とすることに加え、当社の株主との一層の価値共有を目指すインセンティブを与えることで、当社経営職層社員の経営参画意識をより一層高め、当社の企業価値向上を図る
金 額・導 入 時 期	現在検討中



株主還元方針

- 2025年12月期通期配当予想は60円(前年同期比+8円)、DOE2.7%(同+0.3ポイント)で5期連続増配
早期のDOE3.0%を目指す



03

Appendix

中期経営計画／中長期グループ成長シナリオの概要・位置付け

2023年12月期～2025年12月期

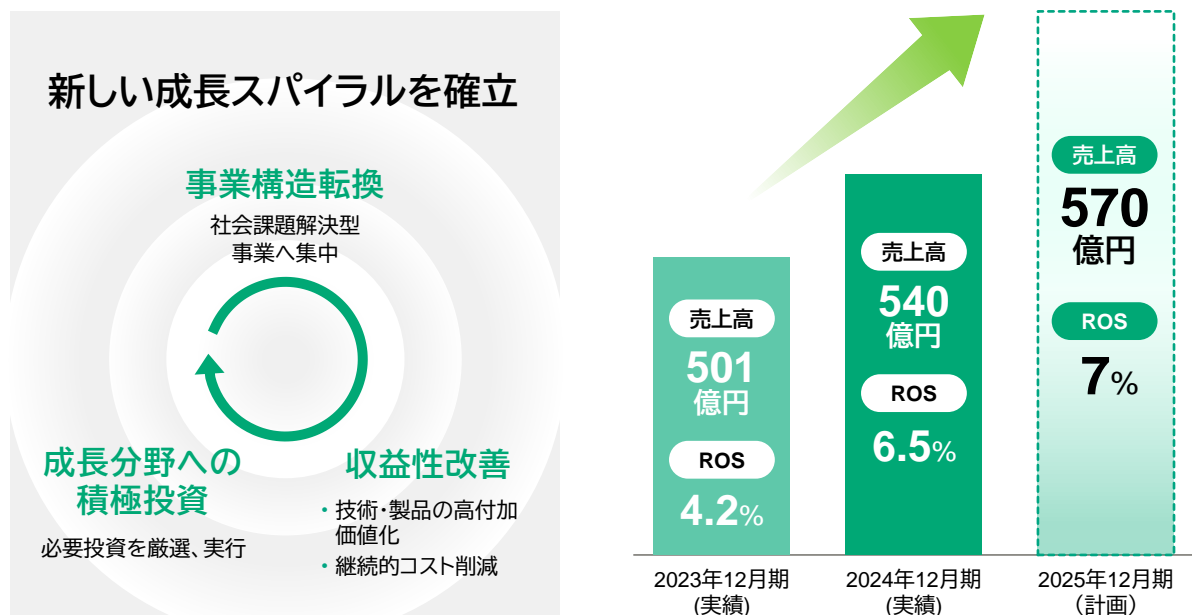
中期経営計画 | INNOVATION25

～2035年12月期

中長期グループ成長シナリオ

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

“新しい成長スパイラル”を固める3か年
「事業構造の転換」「収益性改善」「成長分野への積極投資」を推進



売上・利益面での成長に加え、
「ROE=安定的に10%以上」を重点目標とし
株主還元策と併せて投資家の皆様の期待に応えて行く

重点目標

ROE = 安定的に **10%以上**

売上高	750億円	規模より事業PF変革を重視
営業利益率	10%以上	高付加価値事業に傾注
ROE	10%以上	株主資本コスト ^{*1} を安定的に上回る
ROIC	8%以上	WACC ^{*2} を安定的に上回る
DOE	3%以上	2~3年内に達成を目指す
PBR	1倍以上	早期達成を目指す

※1 当社の株主資本コストは約8%と推定 ※2 現状のWACCは約6%と推定、負債コストは今後上昇すると想定

経営目標数値の進捗

	中期経営計画 2023年2月発表									中長期グループ 成長シナリオ 2024年7月発表 2025年12月期 目指す姿 全社
	【参考】2023年12月期 実績 ^{※1,2,3}			2024年12月期 実績 ^{※1,2,3}			2025年12月期 計画			
	全社	化学品	化粧品	全社	化学品	化粧品	全社	化学品	化粧品	
売上高	501億円	361億円	139億円	540億円	398億円	142億円	570億円	400億円	170億円	750億円
CAGR ^{※4}	△0.9% ^{※5}	△1.8% ^{※5}	5.4% ^{※5}	3.4% ^{※6}	3.2% ^{※6}	3.7% ^{※6}	4.0%	2.3%	8.6%	-
営業利益	20億円	7億円	13億円	35億円	25億円	10億円	40億円	20億円	20億円	-
営業利益率	4.1%	-	-	6.5%	-	-	-	-	-	10.0%以上
ROS	4.1%	1.9%	9.3%	6.5%	6.3%	6.9%	7.0%	5.0%	11.8%	-
ROE	5.8%	-	-	8.7%	-	-	8.0%	-	-	10.0%以上
ROIC ^{※7}	3.6%	1.6%	10.7%	5.8%	5.7%	5.9%	7.0%	5.0%	12.0%	8.0%以上
PBR	0.5倍	-	-	0.5倍	-	-	-	-	-	1倍以上
(実績・想定条件) 為替・ナフサ	141円/USD(2023年12月末)・72,800円/KL(2023年4Q)			151円/USD(2024年12月末)・73,200円/KL(2024年4Q)			132円/USD・72,500円/KL			

※1 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年12月期から適用
 ※2 「化学品セグメント」にその他セグメントを含めて表記
 ※3 「消去及び全社セグメント」は化学品・化粧品の各セグメントに配賦して表記

※4 CAGRは3年間の売上高平均成長率
 ※5 2023年の実績は前年比
 ※6 2022年からの2年間の売上高平均成長率

※7 ROICは運転資金及び固定資産等の情報を元にした当社試算値

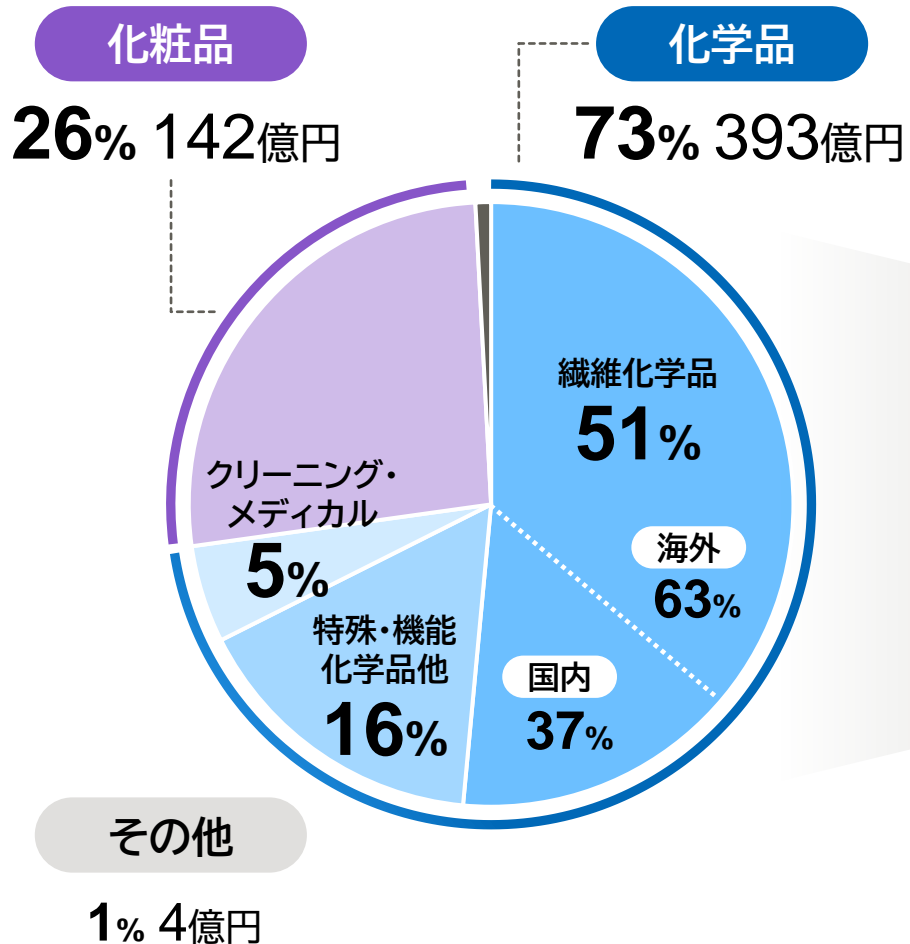
会社概要

商号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本社	福井県福井市文京4丁目23-1
創立	1941(昭和16)年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,531名 単体／615名(2024年12月31日現在)
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア

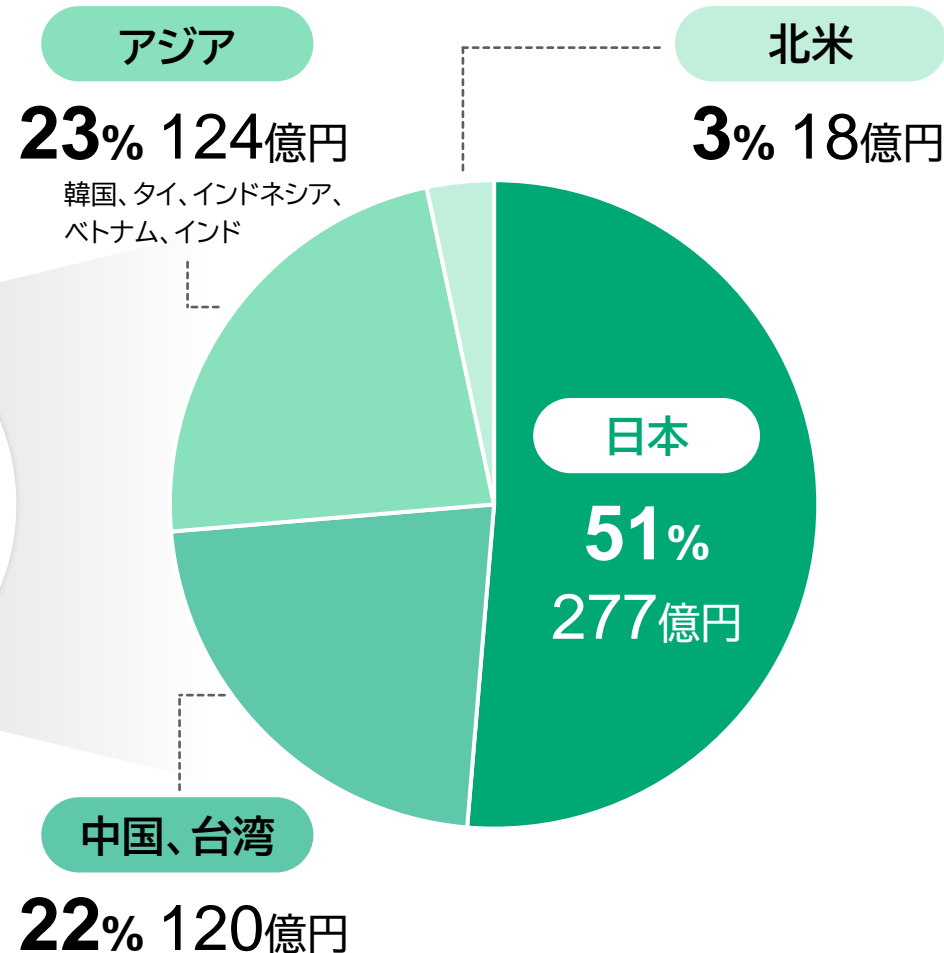


事業別・所在地別 売上高比率

事業別 売上高比率



所在地別 売上高比率



財務データ等推移

(百万円)

項目	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	46,527	44,223	48,493	50,188	46,191	41,179	46,607	50,627	50,169	54,099
EBITDA のれん償却額反映	4,696	3,174	4,056	4,292	3,635	4,187	4,877	5,046	4,308	5,743
(EBITDA率)	9.9%	7.2%	8.2%	8.5%	7.9%	10.2%	10.5%	10.0%	8.6%	10.6%
減価償却費 のれん償却額含む	2,332	1,716	1,940	1,991	2,240	2,771	2,500	2,417	2,269	2,224
営業利益	2,364	1,458	2,116	2,301	1,395	1,416	2,377	2,628	2,039	3,519
(営業利益率)	5.1%	3.3%	4.4%	4.6%	3.0%	3.4%	5.1%	5.2%	4.1%	6.5%
経常利益	2,443	1,588	2,171	2,430	1,334	1,645	2,707	3,132	2,528	3,976
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,152	347	1,388	2,458	900	1,044	2,596	2,114	1,691	2,754
1株当たり当期純利益(円)	70.13	22.09	88.48	156.68	57.33	66.40	164.82	134.08	107.09	174.17
配当金(円)	20	20	16	18	16	10	22	30	32	52
自己資本比率	36.4%	33.3%	34.4%	35.6%	36.7%	39.5%	45.9%	49.8%	52.9%	54.0%
ROE	6.2%	2.0%	7.8%	12.6%	4.5%	5.1%	11.3%	8.0%	5.8%	8.6%
ROA	5.2%	2.9%	4.0%	4.1%	2.5%	2.6%	4.4%	4.8%	3.6%	5.9%
研究開発費	2,096	2,035	2,065	2,219	2,289	2,019	2,166	2,250	2,296	2,551
従業員数(人)	1,373	1,418	1,472	1,479	1,496	1,500	1,454	1,472	1,500	1,531


※ 2024年12月期年間配当金のうち期末配当27円については2025年3月27日開催の定時株主総会で決議予定
 ※ は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目


輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

 (0776)25-8584(直通)

 ir@niccachemical.com

この資料には、2025年2月14日時点の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。